

α) 蘚齒はよく發達し殆んど中央部に於て2裂す。植物體壯大。葉長 7 mm  
..... *D. nipponense*

β) 蘚齒は殆ど 2/3 裂。植物體絨毛よく發達し、葉長 5 mm、葉の細胞中に大小不同なる空胞 (?) 1-3 個あり.....*D. Ikegamii*

B) 蘚齒に縦溝なし

a) 蘚齒は殆ど中央部に於て 2-3 裂。葉長 5 mm 以下

α) 葉は斜上、子嚢は卵狀橢圓 2.5 mm..... *D. Osadae*

β) 葉は直上、子嚢は卵狀橢圓 2 mm.....*D. Fauriei*

b) 蘚齒は中裂するも上部に於て癒着すること多く且つ隔柱縦に交通す。

葉は撒開 5 mm 以上、子嚢は圓壺狀 4 mm 彎曲す .....*D. pogonatoides*

VII *Pseudo-Chorisodontium* 蘚齒の發育不充分なる一群で邦産として次の2種がある。

A) 植物體剛 .....*D. orthothecium*

B) 植物體柔 ..... *D. Sakuraii*

附 記: (1) ミヤマカモジゴケの原記載に肋背平滑とあるは誤で鋭き齒牙あるを普通とす。このことは J. Cardot の私藏書中に既に訂正してあることでも分る。

(2) *D. leiodontium* Card. 及 *D. symblepharoides* Card. の本態ははつきりしないので後日の研究に譲る。

(3) *Brotherus* はケシッポゴケを *Kiaeria* 屬に編入するも余の見所では本品はカモジゴケと比較すべき種と考へる。

(4) *Brotherus* はスグシッポゴケを *Orthodicranum* に編入するも余はタカネコシッポゴケと比較すべきものと考へる。

(5) Dixon と共に新種として發表した *D. perstrictum* Dix. et Sak. はスグシッポゴケと同一品であり、又 *D. pseudo-Bergeri* Dix. et Sak. はナガエノシッポゴケと區別困難なのでその異名とする。 (續)

正 誤 Errata

	誤	for	正	read
p.184 l. 1		<i>Coroniilla</i>	<i>Coroniilla</i>	
p.348 l. 1	外來草		外來雜草	
l. 2	eweds		weeds	